

100年企業に挑む 総合金属建材メーカー

三洋工業株式会社

2018年10月、創立70周年を迎えた東証1部上場の総合金属建材メーカー。1948（昭和23）年に、創業者の故山岸福次郎氏が港区芝神谷町に、セメント販売会社「三洋商会」を設立したのが始まりだ。数年後のセメント販売自由化で苦境に立たされたが、大量のスレート釘を入手することに成功。以来、ネジ、釘、ボルトといった建築金物で事業基盤を確立し、さらに換気扇や接合パーツ（ジョイナー）など建築にまつわる周辺分野へ製品を次々に拡大、金属建材の総合メーカーとして成長を遂げてきた。今ではネジ、釘類の売上比率は極少だが、菊地政義社長は、「ネ

ジ、釘、ボルトは社歌にも出てくる当社の原点」とし、今後もその原点を忘れずに経営を行う方針を示す。

三洋工業は、数ある製品の約半数を全国6カ所の自社工場内で内製化する一方、約25名を擁する技術研究所を構え、製造と販売、開発、施工が一体となって新製品を開発し、事業を拡大してきた。そこで重視してきたのが、現場、現物、現実の三現主義。「顧客第一の思考で、これからも当社がやっていくためには、自社の成長の軌跡をしっかりと継いでいく必要がある」（菊地社長）と話す。

◎ 快適空間を創造する企業を目指す

一方で、創業100年に向けたロードマップづくりが始まっている。まずは10年後を見据える菊地社長は、「ネジや釘のような点ではなく、ジョイナーのような線でもない。快適空間の創造という面の視点でビジネスを発展させていく」と、説明する。例えば、安心・安全の社会ニーズにマッチさせた耐震天井。業界初の超軽量タイプの天井を発売し、官公庁を中心に受注を伸ばしている。あるいは快



輻射式冷暖床システム「エア・フロア」

● 社是・理念

【経営理念】

私たちは国際化社会の中で、社員1人ひとりの自己の成長と企業の安定・発展をはかり、快適空間の創造を通じて社会に貢献します。

【基本経営方針】

1. 人間尊重の経営
2. お客様第一の経営
3. 地域・社会と共生する経営を通じて、オンリーワン企業を目指そう



代表取締役社長

菊地 政義 氏

● 長寿の秘訣

建築現場のさまざまなニーズに対応した製品開発を続けて、多様な金属建材を提供してきた三洋工業。これを支えてきたのは、「お客様第一の経営」と「小さな釘でも日本一になろう！」という創業者の強い思いである。「お客様のためにより良いモノを！」当たり前だがこうした原理原則に従って、社員1人ひとりがひた向きに努力を重ねてきたことが今日の三洋工業を築き上げた。このDNAが需要創造型ビジネスを生み出す原動力となっている。



錦糸町の本社ビル

● 会社概要

創 業：1948（昭和23）年10月
 所 在 地：東京都墨田区太平 2-9-4
 事業内容：・金属建材及び建築材料の製造販売・内装材及び外装材の製造、販売ならびに工事請負・空調及び換気装置の設計、製作、関係機器の製造販売ならびに工事請負・太陽エネルギーを利用した機器の販売ならびに工事請負・その他関連する製品及び原材料の輸出入
 資 本 金：17億6,000万円
 社 員 数：417名（2019年3月期）

URL：<https://www.sanyo-industries.co.jp/>



2014年技術研所内に完成した環境試験棟

適な温熱環境を提供できるシステムフロア。輻射熱によって室内の空気を自然にムラなく冷暖し、省エネ効果も期待できる。すでに2014年には、技術研究所の敷地内に環境試験棟を完成させ、環境、省エネや耐震に役立つ製品開発を加速させる態勢を整えた。今後は音、熱、光、空気、景観といった五感から、社会ニーズを探り製品開発につなげる考えだ。

同社をもう1つ特徴づけているのが、北海道から沖縄まで、合計5000社に及ぶ顧客の広がりだ。約200社強の特約店ルートを持つ一方、国内8支店と合計34カ所の営業所で全国をくまなくカバーする。菊地社長は、「数ある拠点は一定のコスト負担となるものの、全国に広がる顧客の存在は当社の大切な財産。地域密着でお客様と共に歩み、地域の雇用を守ること、1つの企業戦略」と強調する。攻守織り交ぜながら100年企業に挑む方針だ。